

どなたでも参加できます!

Victor・JVC
The Perfect Experience

TVF2008
An International Video Contest
for the People Around the World
TVF 30th Anniversary
in YOKOHAMA

お申込みの要領

ホームページの〈参加お申込みフォーム〉で、ご参加のお申込みをされる場合は、下記の内容をお伝え(ご記入)ください。なお、FAXと電話でも受け付けています。なお、お電話でお申込みの場合は、午前10時から午後5時の間にお願いします。

- ★1 「TVF市民ビデオセミナーの申込み」です
- ★2 「参加希望日は、5月17日 / 6月21日 / 7月19日 / 9月20日」です
*どれか1つ、複数、全てなど、参加希望日を自由にお伝えください

- ★3 お名前
- ★4 ご住所
- ★5 連絡先 (ホームページからお申込みの方はメールアドレス、FAXや電話からお申込みの方は番号を。)



※お客様より参加申し込みの際にご記入いただいた個人情報は、今回の参加受付処理とフェスティバル情報のご案内をさせていただく目的のみに使用させていただきます。個人情報を第三者に提供または開示することはありません。今後個人情報は、TVFに関する発表会・上映会等のご案内をさせていただくために継続して利用致します。ご不要になりましたら、TVF事務局までご連絡下さい。

世界最大の市民映像の祭典 TVF30年記念

市民ビデオセミナー



撮るのが好きなので「作品にしたい」と思っている方に、ぜひ、おすすめです。TVF30年にわたる入賞作品の中から、作品を選んでじっくりと分析。〈テーマ〉と〈表現〉について、他では聞けない素材選びや構成といった作品づくりのコツがバッチリわかります。パワーアップした「TVF市民ビデオセミナー」へ、ぜひ、ご参加ください。

ビデオ作品へのヒントが得られる、具体的なノウハウがわかる!

「観る」ことは「創る」ことの始まり

TVFと市民ビデオとは

作品のテーマ・題材は自由。国、性別、年齢、プロ・アマ、ジャンルを問わないビデオフェスティバルです。誰もが個人として自由に、自己の思いや考えを映像と音声に込め表現したビデオ作品を核にして、皆で語り合い、励ましあう豊かな対話社会を築いていくことを目指しています。

講師のご紹介



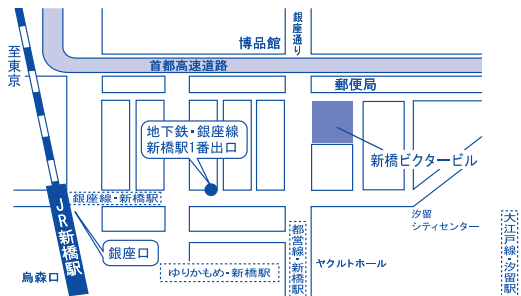
佐藤 博昭 氏

TVF審査委員

ビデオ作家。日本工学院専門学校/日本大学芸術学部映画学科/武蔵大学社会学部講師。ビデオ作家の自主上映組織SVP2代表。95年より農業情報チャンネルで地域ビデオリポーター養成プロジェクトを継続。06年より日本映像学会理事。共著書として『ドキュメンタリーリアルワールドに踏み込む方法』『スーパー・アバンギャルド映像術』(フィルムアート社)『映画は世界を記録する』(森社)など。

会場のご案内

- JR 新橋駅 銀座口より徒歩4分
- 地下鉄銀座線 新橋駅1番出口より徒歩2分
- 地下鉄都営浅草線 新橋駅より徒歩6分
- ゆりかもめ新橋駅より徒歩6分



企画運営

主催/ 日本ビクター株式会社
TVF事務局

協力/ 日本工学院専門学校
市民ビデオ研究会

■ 本セミナーのお問い合わせ先・お申込み先

お申込み、または「TVF」についてはホームページをご覧ください
<http://www.victor.co.jp/tvf/>

日本ビクター株式会社 TVF事務局
〒105-0004 東京都港区新橋1-7-1 ビクタービル
FAX.03-3289-2819 TEL.03-3289-2815

※お電話のお申込み→10:00~17:00 (平日のみ)

会場

ビクター新橋ビル B1F
〒105-0004 東京都港区新橋1-7-1

参加費と定員

一般2,000円、学生1,000円
(1人/1回あたり、テキスト・教材DVD含む)

定員: 各40名(先着順)

※複数回のお申込みも可。定員になり次第、締め切らせていただきます。

実施内容

- ① 作者のわらい、表現方法を考える。
 - ② 撮影、構成、音声など具体的な映像表現を考える。
 - ③ テーマの発見からキーワードの設定、手順など実践的なノウハウを考える。
- ※作者などゲストによる映像作品制作についてのお話も予定しています。

お申込み方法

本チラシ裏面の〈お申込みの要領〉をご覧ください、
「TVF」のホームページの〈参加お申込みフォーム〉
から必要事項を記入していただくか、FAXまたは電話で
お申込みください。

※お電話のお申込み→10:00~17:00 (平日のみ)

5/17(土)
14:00~17:30
自己(内面)を描く

6/21(土)
14:00~17:30
人を描く

7/19(土)
14:00~17:30
社会を描く1

9/20(土)
14:00~17:30
社会を描く2

5月17日 土

14時スタート(受付13:30~)

『自己』を描く

「内面(心情)」

自分を描くことで自分自身を発見する

自分自身を撮影対象にすることは、作品制作の第一歩でもあり、実は最も難しい課題です。自身の内側を描くことは、人前で裸になるような作業であるからです。しかしそこには、今まで自分でも気がつかなかった発見があるのです。自分の内面にある心模様と自分らしさを表現する方法を考えます。

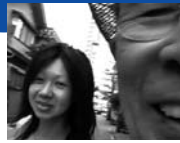
ポイント

- 1 自分の何が表現したいのかを発見する
- 2 表現方法としてどんなことが考えられるか
- 3 私と私のまわりには、どんなストーリーがあるのか

上映予定作品



いまどきの21歳の主張
黒川優生さん
(大阪府・TVF2008)
世の中プラスマイナスゼロ、悪いことが続くと次は良いことが起こると考えている21歳の主張。



やもめ男の物語り
宿谷昭之助さん
(石川県・TVF2008)
一人暮らしの老人が、街で偶然に知り合った若い女性と会話や食事をする光景を描いた作品。



古稀ひとり旅
荒井純子さん
(東京都・TVF2008)
70歳になった作者が、タイで1ヶ月間の一人暮らしをしてこれからの人生を見つめ直す。



老いの執念 夏の光芒
竹下寛二さん
(熊本県・TVF2004)
75歳の作者はマッターホルンを再訪するが編集前に脳梗塞で入院生活。悪戦苦闘の末に完成。



ぼくのまわりで起きたこと
保立友司さん
(東京都・TVF2002)
祖母の死をきっかけにバラバラになった家族。これは再生につながるのか、全てをビデオに記録する。



破れ表紙の人生アルバム
河田茂さん
(広島県・TVF1991)
62年間の人生を映像と軽妙なナレーションで、少年時代から定年までを綴った自分史ビデオ。

7月19日 土

14時スタート(受付13:30~)

『社会』を描く 1

「地域」「伝統」「教育」「格差」

真実を追究する目が社会へのメッセージとなる

「地域・社会」を描く作品は、社会の中で起こっている現象が、どんな理由によるものか突き止めようとする市民ジャーナリズムです。作者の問題意識から多くの人へ向けて発せられるメッセージの在り方について学びます。

ポイント

- 1 そこにどんな問題が存在するのか
- 2 その問題に誰が、どのようなことを言っているのか
- 3 どこをどのように映像化すべきなのか

上映予定作品



学びの場が消えてゆく
斉藤雅之さん
(神奈川県・TVF2008)
高校統廃合で、学校教育から外された居場所を失おうとしている生徒たちの実情に迫る。



駅舎に登ろう
国本隆史さん
(東京都・TVF2008)
国立駅の取り壊しに納得できない思いや解体風景を記録。シンボルの屋根の駅に登った。



レモン
松原ルマユリアキズキさん
(兵庫県・TVF2006)
国籍ではブラジル人なのに、見た目話す言葉も日本人の私。自分はいったい、何人なんだろう。



ダムの水は、いらん!
佐藤亮一さん
(熊本県・TVF2002)
阿蘇の大地を流れる川辺川。ここに巨大なダム建設の話が持ち上がるが、反対の裁判で国と争う。



山里に残る職人技
秋山昭子さん
(愛媛県・TVF2001)
山里の集落に残る茅葺き屋根の家は、屋根の葺き替えにより100年以上も風雪に耐え抜いている。



なにかがくるった!
~銀輪公害~
川崎市立住吉中学校放送部
(神奈川県・TVF1983)
駅前商店街や広場に乗り捨てられた自転車。いわゆる銀輪公害をテーマに問題を提起する。

6月21日 土

14時スタート(受付13:30~)

『人』を描く

「他者」「家族」「仲間」

被写体との信頼関係が作品を際立たせる

「人」を描く作品に感動するのは、その人の言動や行動、心情やライフスタイル(生き様)、人間関係などに映像を通じて共鳴するからです。対象となる人と撮影者(制作者)との心の距離を近づけること。被写体の思いを汲み上げ、他者を介して自分の思いを伝える方法を学びます。

ポイント

- 1 誰の、何に、どのように、共鳴したのか
- 2 対象と作者(自分)の関係はどのように変わったのか
- 3 それらの関係を誰に伝えたいのか

上映予定作品



田舎暮らしの真実は
藤井喜郎さん
(神奈川県・TVF2008)
52歳で退職し、長野県の山村で田舎暮らしを楽しむ増田さん夫婦の個性的な生き方を紹介。



59年ぶりの「再会」
可越さん
(東京都・TVF2008)
父親との再会を求めて中国から日本、米国へ長いたびに出た母親の心情と家族の絆を描く。



The Last Chapter
Makiko Ishiharaさん
(カナダ・TVF2008)
厳格な父が残した回想録から、カナダと日本の家族を通して、亡父を理解しようとする心の旅。



サルマータの夢
金子豊一さん
(神奈川県・TVF2002)
名はサルマータ、お笑いだった昔の名前。その52歳の独身男が恋をする切ない思いを描いた。



停滞する祖母
宮原美佳さん
(大阪府・TVF1998)
祖母は寝たきりの老人。パーキンソン病になった時、リハビリを拒否。家族は奇立ち憎しみさえ芽生える。



クールに包まれたあたたかさ
大塚多喜子さん
(愛媛県・TVF1989)
短い帰郷の時の、家族の会話や子供を思いやる行為、自然に湧き出る親子愛が描かれている。

9月20日 土

14時スタート(受付13:30~)

『社会』を描く 2

「環境」「観察」「子育て」「仕事」

身近な暮らしの中にテーマがある

「生活・環境」を描く作品は、制作者と対象との関係をあらわにし、在りのままの姿に肉薄するものです。様々な撮影技術やアイデアを駆使して、目の前で繰り広げられる出来事を克明に描写・記録し、一番伝えたいことを表現する手段を学びます。

ポイント

- 1 日常から何が発見できるのか
- 2 そこには何が(感動、驚き、反省)潜んでいるのか
- 3 どんな撮影方法、表現があるのか

上映予定作品



映像詩 曾根干潟
北九州市立曾根中学校
視聴覚放送部
(福岡県・TVF2008)
夏休みの自由研究で、孫と一緒にはぐすく生態から蚊の誕生までを克明に観察記録した。



蚊について考察する
黒崎萌さん/大井忠さん
(埼玉県・TVF2008)
夏休みの自由研究で、孫と一緒にボウフラの生態から蚊の誕生までを克明に観察記録した。



棚田を守る
大野進二さん
(山口県・TVF2008)
棚田存続の厳しい中で、新しい方法による地域活性化に取り組む様子を描く。



共働き
内田リツ子さん
(千葉県・TVF2007)
共働きで子育てをする娘夫婦を巡り、母の大変さと子どもへの思いをドラマ風な構成で描く。



ねえ、ママ聴いてるの?
滝澤厚子さん
(埼玉県・TVF2004)
毎朝、会社に行く前のママと、朝食をマイペースで食べ続ける娘との会話から子育てを考える。



よくも生きたぞ90年
門馬義一さん
(山形県・TVF2002)
社交ダンスは10年続け、四国巡礼も7回行った。今はジャム造りやビデオでパソコン編集に挑戦だ。